

(評価資料4)

評価項目	4 予算の配分と研究施設・設備に関すること
当センターの状況	<p>(1) 業務内容に関する経常的経費（施設管理費等）と政策的経費（研究費等）の状況</p> <p>経常的経費（施設管理費等）に当たる試験研究以外の業務費について、予算の推移をみると、検査機器の更新に係る予算は備品更新計画（平成25年度～令和2年度）に従い概ね所要額が計上されている。</p> <p>また、政策的経費（研究費等）である県単試験研究費については、現場・県民ニーズを的確に反映した研究課題の設定や研究の推進・充実強化に必要な人材の育成・確保と体制整備を図るため、平成29年度から予算が増額され、以後、所要額が計上されている。</p> <p>(2) 研究に必要な施設・設備の確保</p> <p>研究に必要な施設・設備の確保については、備品更新計画に基づいた検査機器等の更新を行っている。</p>
評価結果	<p>○ 評価 A：適当（5人）・B：要改善（1人）・C：不適當（0人）</p> <p>○ 評価コメント</p> <p>(1) 業務内容に関する経常的経費（施設管理費等）と政策的経費（研究費等）の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 試験研究費の増額など適切な予算確保につとめられている。・ 人件費、施設維持管理費、研究費、事業費は適切に配分、運営されていると認められる。・ 実施されている研究や人員のレベルの高さからすれば、さらなる外部資金獲得が可能と考えられる。・ 平成29年度から研究予算が増額されているということで県民の期待を受けて研究の推進を期待する。 <p>(2) 研究に必要な施設・設備の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・ 設備の更新などが適切に行われている。・ 適切に更新・整備されている。・ 施設・設備については、適切に確保・更新されている。・ 外部との協力等も含め、適切に確保されている。
センターの対応方針	<p>研究費については、現場・県民ニーズを的確に反映した研究課題の設定や研究の推進・充実強化に必要な人材の育成・確保と体制整備が図られるよう、外部資金を含め予算の確保に努めていく。</p> <p>また、検査機器等は、今後も必要な予算を確保し、計画的な更新に努めていく。</p>